

午後のひと時「遊びリテーション」で歓声



デイサービス響のフロアでは毎日、午後 3 時になるとご利用者たちの歓声や笑い声であふれる、レクリエーションが始まります。響では、レクリエーションをリハビリの一つととらえ、日替わりで担当するスタッフが考えたゲームで盛りあがります。なかでも人気のゲームが、風船をたくさん使った風船バレーや、団扇を使ったパタパタゲーム。

普段、体操にあまり参加でにあまり参加しないご利用者も、ゲーム開始となると生き生きとした表情になります。ゲームは団体戦で行われ、勝負に勝つため夢中になり、いつのまにか立ちあがっていたり、腕を上げたりしています。レクの時間はわずか 30 分ほどですが、夢中になって風船やゲームの的を追いかけるとご利用者たちは、「ああ楽しかった」と、笑顔になっています。



夢中になるから楽しい

心が動けば身体も自然に動く
風船バレーやパタパタゲームで大盛り上がり



大きな鯉のぼりと小さな端午飾りにも挑戦

女性ご利用者たちが中心となって取り組んでいるのが、端午の節句にちなんだ制作です。一つは全長 3 メートルにもなる鯉のぼりです。作品を仕上げるには約 500 枚の鱗が必要です。鱗を折り紙で作る担当とそれを模造紙に貼る担当に分かれて作業に取り組んでいます。完成が楽しみです。

また、牛乳パックを使った端午の節句のミニ飾りづくりにも取り組んでいます。牛乳パックの底を切り抜き、逆さまにしたものを台にして、その上にミニサイズの兜と鯉のぼりが泳いでいます。ご利用者たちは、スタッフと一緒に根気よく作品を完成させていました。



勤続社員 4 名に感謝状と記念品を贈りました



在宅サポートセンター生田では、今年 4 月で、勤続 3 年以上となった職員に対して感謝状と記念品を贈呈しました。

勤続 3 年で表彰されたのはグループホーム響の小山莉奈職員、デイサービス響の石田佳代子職員。二人の優しさや元気に触れると、ご利用者の皆様も素敵な笑顔を見せてくれます。

勤続 5 年で表彰されたのは、グループホーム響の横堀るみ子職員。横堀職員は、いつも笑顔を絶やさず元気いっぱいの仕事ぶりで、チームのムードメーカーとなっています。

勤続 10 年で表彰されたのが、デイサービス響の相吉志乃職員=写真。3 児の母として、また、介護リーダーとして、現場のケアはもちろん、ケアプラン作成など重要な職責を担っています。

ひびき通信

平成 30 年 5 月版

「遊びリテーション」ってなに？

遊びリテーションとは、遊びとりハビリテーションを組み合わせた造語です。ひびきでは、午後の運動系プログラムの中に、遊びを取り入れたレクリエーションの時間を設

けています。「子どもっぽい」と参加を渋る方もいますが、レクが始まると、いつの間にか輪に加わり、夢中で風船を追いかけています。「遊び」を通して、ご利用者の「生き活き」を引き出すのが「遊びリテーション」です。